



はしかみ

「豊かな人間性と創造性を持ち、心身ともに健康で、たくましく生きる児童を育成する」

まとめをしっかりと！次年度へ向けて！

明けましておめでとうございます。今年は、例年になく暖かい日が続いた年末年始となりました。子供たちは、17日間の冬休みを終え、気持ちも新たに登校して参りました。冬休み明けの校長先生のお話を聞く姿勢は、どの児童もしっかりと背筋が伸び、校長先生をしっかりと見て、目と耳と心で聞いており、新たな気持ちでこれからまとめの学習や生活をしっかりとやっという思いが伝わってきました。これも、冬休みに家庭で充実した生活を送ることができたおかげと感謝申し上げます。

今年も、これまで同様、保護者の皆様を始め地域の皆様方にも、ご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【冬休み明け臨時朝会の校長先生のお話】

「新年あけましておめでとうございます。冬休みが終わり、皆さんが事故やけがをすることなく元気に登校してきたことを大変うれしく思います。誰もが健康で幸せな年になることを願って新しい年を迎えたと思いますが、1月1日に石川県などの北陸地方に最大震度7の地震が何度も発生し、日本海側の多くの地域に津波が押し寄せました。地震による家屋の倒壊や火災で168名の人々が亡くなり、未だ行方不明の方々の救助も難航しています。改めて災害はいつ起こるか分からないという意識を持って生活していかななくてはなりません。

さて、今朝は「1年の締めくくり」と「次につなぐ」という話をします。今年度残りの授業日は、1年生～4年生は、3月22日の修了式まで50日間、5年生は51日間、6年生は3月15日の卒業式まで47日間となります。とても短い期間です。今年度の締めくくりとなる大事な日々になります。一日一日を学習や生活にしっかりと取り組み充実した楽しい毎日にしましょう。

次につなぐという話ですが、校長先生は、毎年お正月に楽しみにしているものがあります。それは、駅伝です。たすきをつないで走るマラソンのような団体種目です。1月1日は実業団のニューイヤー駅伝、1月2日と3日は大学対抗の箱根駅伝を夢中になって見ていました。チーム全体が勝利を目指し、毎日苦しい練習に取り組みゴールを目指します。自分が脱落したらゴールはできません。責任感と緊張感が選手全員の姿や表情から伝わってきました。駅伝を見て感じるのは、皆さんの普段の学校生活にも当てはまることだと思うのです。自分の学習や生活を振り返りながら課題を克服するためには、先生方や家族の指導や応援が必要です。そして、皆さんを導いてくれるのは上級生の存在です。6年生の皆さんは児童会の活動や挨拶運動など自分たちが前向きに行動する姿を5年生に引き継ぎ、下級生全体がより良い階上小学校にしようと引き継いでいくのです。この心のたすきをしっかりとつないでほしいと思います。さあ、6年生は中学校進学に向けて、1年生から5年生の皆さんは、4月から始まる新しい学年に向けての準備をしていきましょう。健康に気を付けて、寒さに負けずに元気に頑張りましょう。

【「野球しようぜ」大谷翔平選手からグローブが届きました】

ロサンゼルス・ドジャース（元エンゼルス）のメジャーリーガー、大谷翔平選手より3つのグローブをご寄贈いただきました。テレビのニュースでご承知の通り、全国の小学校へ寄贈されているもので、本校にもこの冬休みに教育委員会を経て届けられました。大谷選手からのメッセージは以下の通りとなっております。各クラスでのお披露目を経て、体育の授業などで活用していく予定です。ありがとうございます。

大谷選手からのメッセージ（原文のまま）

学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。 大谷翔平

